

多職種連携推進研修部会主催の

第1回研修会が開催されました！



2017年9月26日

第1回多職種連携研修会

さる9月26日上越市民プラザ 第2会議室にて第1回多職種連携研修会を開催しました。

参加者は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員、リハビリ職、管理栄養士、介護支援専門員、介護員、福祉用具専門相談員等28名、部会委員6名、事務局5名の計39名です。

今年度の多職種連携研修会は、「その人らしさ、持ち味、生活力をかかわる皆で共有し、その人が本来持つ力を引き出し、在宅での生活を継続していくために、地域連携連絡票を活用することができる」を目標に、年3回開催します。

○第1回研修会内容

【テーマ】地域連携連絡票について学ぶ

第1回研修会では、認定情報・認定調査票、主治医意見書、居宅サービス計画書から、実際に地域連携連絡票を作成しました。

また、作成しての感想や在宅生活を支えていくために大切だと思うこと等について話し合い、以下の意見がでました。

～ クループワークから ～

- 本人の意欲、今後の生活の目標が分かると、生活の全体像が浮かびやすくなる。
- 趣味やこれまでの生活歴も大切。
- 早い段階から在宅での状況を知っておくことでサービスを円滑につなげることができる。
- 家族を含めて、生活環境全体を見ていくことが大切。
- 家族の介護力が分かると必要なサポートが分かり、退院後の生活に反映できる。
- 最終的な生活の目標をきちんと理解していることが大切。
- 地域連携連絡票という共通のツールを用いてイメージを共有しながら、関わる皆で不足部分を補い、意見を出し合い作りあげていくことが、生活を支え・良くしていくことにつながる。

○第2回研修会内容

11月28日(火) 19時から20時30分

上越市市民プラザ 第2会議室

第2回は、「退院時カンファレンスについて学ぶ」をテーマに、地域連携連絡票を用いて模擬カンファレンスを行います。

